

1. 千葉大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較		
		新	旧	
学内共同教育研究施設の設置	平成23年 4 月 1 日	(名称) アカデミック・リンク・センター	(新設)	
学部等附属の教育研究施設の設置	平成23年 4 月 1 日	(名称) 医学研究院附属子どものこころの発達研究センター	(新設)	
教育学研究科の改組	平成23年 4 月 1 日	(専攻) (入学定員) (収容定員) 学校教育科学専攻 32人 64人 教科教育科学専攻 47人 94人	(専攻) (入学定員) (収容定員) 学校教育専攻 5人 10人 国語教育専攻 5人 10人 社会科教育専攻 5人 10人 数学教育専攻 5人 10人 理科教育専攻 6人 12人 音楽教育専攻 5人 10人 美術教育専攻 5人 10人 保健体育専攻 5人 10人 技術教育専攻 3人 6人 家政教育専攻 3人 6人 英語教育専攻 5人 10人 養護教育専攻 3人 6人 学校教育臨床専攻 9人 18人 カリキュラム開発専攻 7人 14人 特別支援専攻 3人 6人 スクールマネジメント専攻 5人 10人	
医学部における入学定員及び収容定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(学科) (入学定員) (3年次編入) (収容定員) 医学科 115人 5人 710人	(学科) (入学定員) (3年次編入) (収容定員) 医学科 110人 5人 680人	
千葉大学大学院入学者受入れ方針の設定	平成23年 1 月13日	【千葉大学大学院入学者受入れの方針】 千葉大学大学院の求める入学者 千葉大学大学院は、学位授与の方針にかかけるとおり、高度で独創的な研究の重点的な育成を図り、世界的な研究拠点の形成を目指すとともに、個性ある教育プログラムにより、社会の様々な分野においてリーダーとして貢献できる高度専門職業人を養成することを基本的な目標としています。この研究・教育方針の実現のため、十分な学力を基盤として、全人的視野に立ち、それぞれの専門分野において知の創成とその創造的活用に積極的に取り組む意欲をもつ人の入学を求めています。 【修士課程・博士前期課程】 千葉大学大学院修士課程・博士前期課程は、進展著しい21世紀の知識社会にあって学際的・総合的分野における独創的な研究能力を涵養し、社会の付託に応える有為な人材となるべく、高度専門職業人としての自立的な活動に必要な深い学識を授けることを目的としています。本課程の教育研究活動に即して問題関心が旺盛で、広い学問視野に立ち、時代を切り開く学識を身につける意欲をもつ人の入学を求めています。 【博士後期課程】 千葉大学大学院博士後期課程（または4年博士課程）は、各専攻分野において、研究者として自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うとともに、全人的視野に立った思考能力の高い研究者を育成することを目的としています。各専攻分野の深い専門性に根ざし、論理的で先端的な方法論・解析能力などを身につける意欲をもつ人の入学を求めています。また、高度な知識と研究能力を礎として、基礎分野のみならず、新領域・応用分野での独創的・国際的な研究の開拓を行うことができる人の入学を求めています。 【専門職学位課程】 千葉大学大学院専門職学位課程は、それぞれの専門分野における理論研究を基礎としつつ、当該専門職に求められる高度な実務能力と職業倫理を備えるとともに、人々が直面する様々な課題を的確に認識しその解決に意欲的かつ創造的に取り組み、社会に貢献できる、「心」ある高度専門職業人を養成することを目的としています。この目的に共感し、それぞれの分野・専門職に必要な適性と高度専門職業人た然とする強い志を有するとともに、多様な知識と経験を備えた人の入学を求めています。		

教育学研究科及び同研究科各専攻入学受入れ方針の変更	平成22年 9 月 9 日	【千葉大学大学院教育学研究科入学受入れの方針】 千葉大学大学院教育学研究科の求める入学者 千葉大学大学院教育学研究科は、学部における一般的並びに専門的教育を基礎とし、広い視野に立って清深な学識を授け、教育の理論・実践を創造的に推進し得る人材の育成を目的としています。この視点に立ち、新たな教育内容を研究開発し提言できる人、教育現場のリーダーとしての役割を担える人、地域と連携し学校や地域全体の教育を担える人の入学を求めています。 【修士課程】 (1) 学校教育科学専攻 学校教育科学専攻が求める入学者 学校教育科学専攻では、教育や発達に関する基礎的問題および不登校、学力をめぐる問題等の学校教育に関する諸問題を学際的なアプローチによる科学的視点からの確に捉え、問題解決のための研究を推進できる資質を持った人の入学を求めています。 (2) 教科教育科学専攻 教科教育科学専攻が求める入学者 教科教育科学専攻では、学術・文化の各領域とそれらの教育に関する諸問題について、隣接領域や境界領域をも視野に入れながら、学際的なアプローチによる科学的視点からの確に捉え、問題解決のための研究を推進できる資質を持った人の入学を求めています。	教育学研究科では、広い視野に立って教育の諸問題を深く追求し、地域との教育機関等との連携を図りながら、実際の教育現場に貢献できる高度な専門職業人の育成を目標としています。 したがって、本研究科では、次のような人を求めています。 1. 学部教育における学修あるいは現場での経験をふまえて、自身の問題意識を持ちつつ研究課題を深める意志を明確にもつ人 2. 多様な考え方に学びながら、研究を継続して行おうとする姿勢をもつ人 3. 教育の改善に貢献できる能力を高めようとする意欲をもつ人
理学研究科及び同研究科各専攻入学受入れ方針の変更	平成22年 9 月 9 日	【千葉大学大学院理学研究科入学受入れの方針】 千葉大学大学院理学研究科の求める入学者 理学研究科博士前期課程は、情報数理を含む数学あるいは様々な自然現象の解明に情熱と意欲を持つ人で、修了後、専門的知識を生かして社会の諸分野で活躍する人を求めます。 また、博士後期課程では、修了後、研究を中心として諸分野で国際的に活躍する人を求めます。 【博士前期課程】 (1) 基盤理学専攻 ① 数学・情報数理学コース 数学・情報数理学コースが求める入学者 数学的構造やその種々の応用、或いは数理的な情報科学に興味がある人が論理的思考に基づいた推論能力を伸ばすことを目標にしており、その数理的専門性を生かして社会の諸分野で活躍しようとしている人の入学を求めています。 ② 物理学コース 物理学コースが求める入学者 物理学の基礎的学力と創造性豊かな科学的思考力を併せ持ち、自然界の諸現象の解明に情熱と意欲を持つ人で、物理学を一層深く習得し社会の諸分野で活躍しようとしている人を求めています。 ③ 化学コース 化学コースが求める入学者 化学の基礎知識と応用力をもつ人で、とりわけ化学に対する強い情熱をもつ人を求めます。化学の領域において専門的研究能力を有し、国際レベルの研究を行う意欲をもつ人を求めます。 (2) 地球生命圏科学専攻 ① 生物学コース 生物学コースが求める入学者 生物学の基礎学力と応用力を備え、様々な生命現象に対する興味をもち、生命科学の高度な研究に能動的に取り組んで成果をあげようとする意欲のある人を求めています。修了後は、研究をはじめとする諸分野で専門知識を生かして活躍しようとする人を希望します。 ② 地球科学コース 地球科学コースが求める入学者 地球の表層から内部にわたる広範囲の諸現象を、物理学・化学・生物学・地球科学などの広い自然科学の基礎知識に基づき、複合領域的・学際的・応用科学的観点から解明しようとする情熱と意欲を持つ人の入学を求めています。修了後、専門的知識を積極的に社会に役立てることを目指す人の入学を求めています。 【博士後期課程】 (1) 基盤理学専攻 ① 数学・情報数理学コース 数学・情報数理学コースが求める入学者 研究者を目指す学生・社会人で数学や情報数理学に興味を持つ人が数学・情報数理学に関連する各専門分野の研究をする所であり、それに必要な基礎学力を有し、論理的思考能力と問題発見能力に秀でている人の入学を求めています。 ② 物理学コース 物理学コースが求める入学者 物理学の基礎的学力と創造性豊かな科学的思考力を併せ持ち、自然界の諸現象の解明に情熱と意欲を持つ人で、物理学を一層深く習得し社会の諸分野で国際的に活躍したり、独創性を発揮しようとしている人を求めています。	博士前期課程 基盤理学専攻 数学・情報数理学コース 1. 数学的構造やその種々の応用、或いは数理的な情報科学に興味がある人 2. 知的好奇心があり、論理的思考に基づいた推論ができる人 3. 数理的専門性を生かして社会の諸分野で活躍しようとしている人 物理学コース 1. 物理学の基礎学力を持ち自然界の諸現象の解明に情熱と意欲を持つ人 2. 物理学を一層深く修得し社会の諸分野で活躍しようとする人 化学コース 1. 化学の基礎知識と応用力及び化学に対する情熱をもつ人 2. 化学の領域における専門的研究能力を備えた人 3. 国際的なレベルでの活躍をめざす意欲的な人 地球生命圏科学専攻 生物学コース 1. 生物学の基礎学力と応用力をもつ人 2. さまざまな生命現象に興味を持ち、それらの研究に取り組む意欲がある人 3. 生命科学の高度な研究に取り組み、成果をあげようとする意欲がある人 4. 修了後は研究をはじめとする諸分野で、専門を生かして活躍しようとする意欲があること 地域科学コース 1. 地球の表層から内部にわたる広範囲の諸現象の究明に情熱と意欲を持つ人 2. 物理学・化学・生物学などの広い自然科学の基礎知識を持つ人 3. 複合領域的・学際的・応用科学的に物事を考える力を持つ人 博士後期課程 基盤理学専攻 数学・情報数理学コース 1. 研究者を目指す学生・社会人で数学や情報数理学に興味を持っている人 2. 数学・情報数理学に関連する各専門分野の研究を遂行するのに必要な基礎学力を有している人 3. 論理的思考能力と問題発見能力に秀でている人 物理学コース 1. 物理学の基礎学力を持ち自然界の諸現象の解明に情熱と意欲を持つ人 2. 物理学を一層深く修得し社会の諸分野で活躍しようとする人 化学コース 1. 化学の基礎知識と応用力及び化学に対する情熱をもつ人 2. 化学の領域における専門的研究能力を備えた人 3. 国際的なレベルでの活躍をめざす意欲的な人

		③ 化学コース 化学コースが求める入学者 化学の基礎知識と応用力をもつ人で、とりわけ化学に対する強い情熱をもつ人を求めます。化学の領域において高い専門的研究能力を有し、国際的に卓越した研究成果を積み重ねていく強い信念をもつ人を求めます。 (2) 地球生命圏科学専攻 ① 生物学コース 生物学コースが求める入学者 生命科学の高度な学力を備え、最前線の問題に粘り強く取り組み、国際的な評価を受ける成果をあげようとする意欲のある人を求めています。修了後は、研究を中心とした分野で、専門知識を生かして活躍しようとする人を希望します。 ② 地球科学コース 地球科学コースが求める入学者 地球深部から表層部までの様々な現象を、広範囲にわたる自然科学の専門知識に基づき、従来とは違った観点から解明しようとする意欲を持つ人の入学を求めています。さらに、学際的および国際的に活躍するために必要な知見と技量の取得を目指す人の入学を求めています。	地球生命圏科学専攻 生物学コース 1. 生物学の基礎学力と応用力をもつ人 2. さまざまな生命現象に興味を持ち、それらの研究に取り組む意欲がある人 3. 生命科学のより高度な研究に取り組み、国際的な評価を受ける成果をあげようとする意欲がある人 4. 修了後は研究を中心とした分野で、専門を生かして活躍しようとする意欲がある人 地球科学コース 1. 地球の表層から内部にわたる広範囲の諸現象の究明に情熱と意欲を持つ人 2. 物理学・化学・生物学などの広い自然科学の基礎知識を持つ人 3. 複合領域的・学際的・応用科学的に物事を考える力を持つ人
看護学研究科入学者受入れ方針の変更	平成22年 9 月25日	【千葉大学大学院看護学研究科入学者受入れの方針】 千葉大学大学院看護学研究科の求める入学者 千葉大学大学院看護学研究科は、看護実践の諸活動に科学的根拠を与える基礎的理論とその応用を体系的に教授・研究し、国民の健康と安寧な生活を守ることのできる看護支援方法の研究・開発が自立して推進できるナース・サイエンティストの育成を目標としています。このような観点から、十分な学力を基盤として、全人的視野に立ち、看護学を学的基盤にした実践・研究への志向性の高い学生の入学を求めています。 【博士前期課程】 看護学専攻が求める入学者 看護学専攻は、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学分野における研究能力、および、選択に応じた高度な看護実践能力を修得することを目指しています。このような観点から、看護学と看護実践を高く価値づけ、看護にかかわる問題への関心が旺盛で主体的に問題解決に取り組む人の入学を求めています。 【修士課程】 看護システム管理学専攻が求める入学者 看護システム管理学専攻は、社会や国民のニーズ、保健医療福祉の変化の状況を広く俯瞰し、看護実践の場を変革する、高度な看護管理能力の開発を目指しています。このような観点から、学修に強い意欲を持ち、修了までの期間、所属機関から学業と実践を両立することを認められた現役の看護管理者の入学を求めています。 【博士後期課程】 看護学専攻が求める入学者 博士後期課程は、看護学分野の研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うとともに、看護学の学術的基盤の発展に貢献できる研究者の育成を目的としています。このような観点から、看護学の専門性に根ざした課題を探究し、その課題の探究にふさわしい方法論、分析能力を身につけられる人、独創的・国際的な研究の開拓に意欲的に取り組む人の入学を求めています。	看護学研究科は、看護学の学的基盤の充実発展に寄与できる教育・研究者、研究能力を備えた高度看護専門職業人を育成することを目指します。このような観点から、次のような人を求めています。 1. 看護学研究への関心の高い人 2. 看護学と看護実践を高く価値付けている人 3. 看護学を学的基盤にした実践への志向性の高い人
工学研究科及び同研究科各専攻入学者受入れ方針の変更	平成22年 7 月22日	【千葉大学大学院工学研究科入学者受入れの方針】 千葉大学大学院工学研究科の求める入学者 千葉大学大学院工学研究科は、自然科学の体系的な理解に基づき、博士前期課程においては高度専門職業人として、また博士後期課程においては先導的な研究者として高い倫理観に基づき社会の発展に貢献することに意欲的に取り組む人の入学を求めています。 【博士前期課程】 (1) 建築・都市科学専攻 ① 建築学コース 建築学コースが求める入学者 建築・都市に関する幅広い視点に立ち、かつ建築学の特定分野に関する深い知識を習得し、高度専門技術者として活躍する意欲があり、総合的学問・技術である建築学を活かし、実践に結び付けようとする熱意のある人の入学を求めています。 ② 都市環境システムコース 都市環境システムコースが求める入学者 21世紀にふさわしい「都市概念」の創成と、自然環境と調和した豊かな「都市」の構築を目指し、都市空間計画・都市基盤工学・都市環境工学・都市情報工学の各専門分野の知識を身につけるとともに、現代の都市が抱える諸問題に対して、その解決に創造的に取り組む意欲のある人の入学を求めています。	建築・都市科学専攻 建築学コース 建築・都市に関する幅広い素養を身につけ、高度専門技術者として活躍する意欲のある人。論理的かつ柔軟な思考を通じて、空間的に構想し、実践に結びつけようとする意欲のある人。 都市環境システムコース 都市を主体とする現代地域社会の豊かな人間環境の構築を目指して、都市空間計画・都市インフラ・防災・エネルギー・リサイクル・情報通信システムなどの分野の諸問題の解決に対して、探究心をもち、総合的かつ積極的に取り組む意欲のある人。 デザイン科学専攻 デザイン科学コース デザイン科学に関わる諸問題と真摯に対峙し、既成の価値観にとらわれることなく主体的かつ創造的に問題解決と取り組み、より良い生活や社会の実現を目指す開拓精神旺盛な人。

(2) デザイン科学専攻

① デザイン科学コース

デザイン科学コースが求める入学者

デザインの基礎と応用に関する高い専門性を身につけるとともに、幅広いデザイン領域の理解や、他領域との連携もふまえ、既成の価値観にとらわれることなく主体的かつ創造的に問題解決に取り組み、より良い生活や社会の実現を目指す開拓精神旺盛な人の入学を求めています。

(3) 人工システム科学専攻

① 機械系コース

機械系コースが求める入学者

機械系コースは、知的好奇心が旺盛で機械工学に関する素養を向上させる熱意のある人と、機械工学に関する幅広い専門的知識を身につけ、国際社会で貢献する意欲のある人の入学を求めています。

② 電気電子系コース

電気電子系コースが求める入学者

電気電子系コースは、電気電子工学の社会的使命に共感し、その技術の発展に寄与したいと強く希望する人を求めています。その中でも、特に、電気電子工学分野における、専門的な知識と能力を養うための、基礎的能力と意欲のある人の入学を求めています。

③ メディカルシステムコース

メディカルシステムコースが求める入学者

メディカルシステムコースは、医学と工学との学際領域において、機器や技術の研究開発を通して人類の基本的欲求である医療、健康、福祉の向上を実現するために、医用工学の発展に向けて情熱と意欲を持って取り組む能力を有する人の入学を求めています。

(4) 共生応用化学専攻

① 共生応用化学コース

共生応用化学コースが求める入学者

化学を中心とする自然科学分野の基礎知識を備え、環境調和型の化学および関連する工学を学ぶことに強い意欲を持ち、その成果を社会の発展に役立てたい人の入学を求めています。

【博士後期課程】

(1) 建築・都市科学専攻

① 建築学コース

建築学コースが求める入学者

建築・都市に関する幅広い素養の上で、建築学の特定分野に関する深い知識を習得し、専門研究者・専門技術者として活躍する意欲があり、さらに論理的かつ柔軟な思考を通じて、最先端・高度な知識ベースを構築し、それを発展させようとする熱意のある人の入学を求めています。

② 都市環境システムコース

都市環境システムコースが求める入学者

21世紀にふさわしい「都市概念」の創成と、自然環境と調和した豊かな「都市」の構築を担う研究者として、深い専門性に基づき現代都市の諸問題を的確に把握する洞察力・思考力と、解決策を構想し実現に導く構想力・実行力を養う強い志のある人の入学を求めています。

(2) デザイン科学専攻

① デザイン科学コース

デザイン科学コースが求める入学者

デザイン科学諸領域における最新の知見を融合し、この領域において指導的な役割を担い、多様で高度な要求に対応できる、デザイン科学における未踏領域開拓能力を持つデザイン技術者・研究者を志す人の入学を求めています。

(3) 人工システム科学専攻

① 機械系コース

機械系コースが求める入学者

機械系コースは、機械工学を基盤とした幅広い学問領域に関する高度な専門的知識を身につけ、最先端の研究開発に関する課題解決能力と遂行能力等をもち、国際社会で貢献する意欲のある人の入学を求めています。

② 電気電子系コース

電気電子系コースが求める入学者

電気電子系コースは、電気電子工学の社会的使命に共感し、その技術の発展に寄与するため、電気電子工学分野における高度な知識と専門的応用能力を駆使して自ら研究を進める能力と意欲のある人の入学を求めています。

③ メディカルシステムコース

メディカルシステムコースが求める入学者

メディカルシステムコースは、医学と工学との学際領域において、機器や技術の高度な研究開発を通して人類の基本的欲求である医療、健康、福祉の向上を実現するために、医用工学の革新的な発展に向けて情熱と意欲を持って取り組む能力を有する人の入学を求めています。

(4) 共生応用化学専攻

① 共生応用化学コース

共生応用化学コースが求める入学者

化学を中心とする自然科学分野の知識を十分に備え、環境調和型の化学及び関連する工学を学ぶことに強い意欲を持ち、先導的な研究者・技術者として社会の発展に積極的に貢献したい人の入学を求めています。

人工システム科学専攻

機械系コース

現代社会において利用される自動車、精密機器、工作機械、あるいはロボットなどの機械システムには構成要素やそれらを統合するシステム化技術を含む機械工学の学問領域は必要不可欠です。本コースでは、「問題発見能力とその解決能力」を有する高度専門技術者、あるいは研究者を育成します。そのために求める具体的な学生像は次の通りです。

1. 知的好奇心が旺盛で機械工学に関する素養を向上させようという熱意のある人。
2. 機械工学に関する幅広い専門的知識を身につけ、国際社会で貢献する意欲のある人。

電気電子系コース

電気電子工学や情報工学などの基礎学力を既に修得し、この分野において高度な技術者や研究者をめざす次のような人を求めます。

1. 事象の本質を探究する姿勢を持ち、2. 論理的・体系的に深く思考し、3. 電気電子工学・情報工学に関する技術を社会に役立てる意欲を有し、4. 独創的な研究を常に志す人。

メディカルシステムコース

過去に経験のない超高齢社会を迎えた我が国では、医療に関する広範な知識・実践力を有する工学技術者と科学技術に精通した医療従事者との協働に基づき、新しい医療の展開・発展を図ることが、いま、広く社会から求められています。メディカルシステムコースでは、このような医工連携に支え、社会に貢献したいと考えている人を求めます。

共生応用化学専攻

共生応用化学コース

本コースは以下のような学生の応募を求めます。

1. 環境とバイオをキーワードとする新しい化学を学ぶことに情熱と意欲をもつ人。
2. 化学に関連する分野で活躍し、社会に貢献したいと考えている人。
3. 大学院博士後期課程へ進学してより深く学問を究めたいと考えている人。

園芸学研究科入学者受入れ方針の変更	平成22年 9月24日	【千葉大学大学院園芸学研究科入学者受入れの方針】 千葉大学大学院園芸学研究科の求める入学者 千葉大学大学院園芸学研究科は「食と緑」に関する課題に対して、国際的な幅広い視野から教育研究を行っています。博士前期課程では、専門分野の学識を深化させ、高度の専門性を有する職業人や研究者に必要な能力を身につけられる人を求めています。博士後期課程では、専門分野の更に深い学識の蓄積と学際的・総合的視野を涵養し、自立した研究者あるいは研究・行政等の組織統括者に必要な能力を身につけられる人を求めています。 【博士前期課程】 環境園芸学専攻 ① 生物資源科学コース 生物資源科学コースが求める入学者 生物資源科学コースは、主に園芸植物の栽培・育種による生産技術の開発、生物資源の生産に関わる土壌、気象、生物、化学物質などの環境要因の解析、生物資源の有効活用などに関わるバイオテクノロジーについての幅広い教育研究を行っています。上記分野の学識を修得して国際的にも通用する応用力を身につけた高度専門職業人や研究者を目指す人を求めています。 ② 緑地環境学コース 緑地環境学コースが求める入学者 緑地環境学コースは、緑と人の環境に関わる専門職や研究職を志し、研究の出発点として重要な意欲や好奇心と論理的思考能力を持ち、関係の専門分野について体系的に理解し、学術的コミュニケーションを国際的に行うための基礎学力を有している人を求めています。 ③ 食料資源経済学コース 食料資源経済学コースが求める入学者 食料資源経済学コースは、文理融合的な素養を踏まえつつ社会科学の手法・知識を習得し、フードシステム全体を見渡しなが実践的な経営戦略・施策を立案する能力、及び農村の多様な資源と自然環境を評価しながら適切に管理し、持続的な開発を行える能力を身につけた人材を養成しています。上記分野の学識を深め、高度の専門性と国際性を有する職業人や研究者を目指す人を求めています。 【博士後期課程】 環境園芸学専攻 ① 生物資源科学コース 生物資源科学コースが求める入学者 生物資源科学コースは、園芸植物の栽培・育種による生産技術の開発、生物資源の生産に関わる土壌、気象、生物、化学物質などの環境要因の解析、生物資源の有効活用などに関わるバイオテクノロジーについての幅広い教育研究を行っています。上記分野の専攻によって、更に深い学識の蓄積と学際的・総合的視野を身につけた研究者あるいは研究・行政等のリーダーを目指す人を求めています。 ② 緑地環境学コース 緑地環境学コースが求める入学者 緑地環境学コースは、緑と人の環境に関わるより高度な専門職業人や研究者を志し、探究心と論理的思考能力及び科学的批判精神を有し、自ら研究方法の組み立てや研究体制のマネジメントを行える主体性と様々な状況に対応できる柔軟性をもって、関係の専門分野について体系的に理解し、学術的コミュニケーションを国際的に行う学力を有している人を求めています。 ③ 食料資源経済学コース 食料資源経済学コースが求める入学者 食料資源経済学コースは、高度な社会科学の手法・知識を習得し、フードシステム全体を見渡しなが実践的な施策を立案する能力、及び農村資源と自然環境の評価・管理と持続的な開発を行える能力を身につけた人材を養成しています。上記分野について深い学識を蓄積するとともに、学際的及び国際的視野を涵養し、研究者あるいは研究・行政等の組織統括者を目指す人を求めています。	園芸学研究科は「食と緑」の総合研究科として、食料資源に関する課題や健康・福祉を含む広範囲な環境科学に関する課題に対して、自然科学のみならず社会科学・人文科学をも含む文理融合的なアプローチにより、学際的、国際的に幅広い視野から教育研究を行っています。これらの専門分野の学識を深化させ、高度の専門性を有する職能人や研究者を目指す学生を求めています。
人文社会科学研究科及び同研究科各専攻入学者受入れ方針の変更	平成22年 9月15日	【千葉大学大学院人文社会科学研究科入学者受入れの方針】 千葉大学大学院人文社会科学研究科の求める入学者 博士前期課程では、大きく分けて（１）人文科学、社会科学の分野の学問研究をめざしてより高度で専門的な研究を行いたい人と、（２）学部教育より一層専門的な識見を身につけ、それをもとに高度職業人として社会に出てさまざまな分野で活躍しようとする人を求めています。 博士後期課程では、人文社会科学分野の博士学位論文を３年間で完成させて博士の学位を取得することが出来る能力を持った人、その過程で学問研究を多角的かつ綿密に行い、く、あくまで謙虚な態度で先人の業績に学びつつ、独創的な知見を自ら編みだし、広く学問と専門領域に貢献することをめざす人を求めています。	博士前期課程 博士前期課程では、大きく分けて１）人文科学、社会科学の分野の学問研究をめざしてより高度で専門的な研究を行いたい人と、２）学部教育より一層専門的な識見を身につけ、それをもとに高度職業人として社会に出てさまざまな分野で活躍しようとする人、を求めています。 地域文化形成専攻 記録情報、表象物質情報、言語行動、地域スポーツなど多様な文化資源の維持、活用にかんする総合的、実践的な教育研究を行い、専門的知識と国際感覚を身につけて地域社会の文化形成に貢献する高度職業人をめざす人を求めます。

【博士前期課程】

（１）地域文化形成専攻

① 記録情報教育研究分野

記録情報教育研究分野が求める入学者

世界の諸地域に文字として蓄積されてきた、歴史・文学等に関する記録情報を文化資源として維持活用するための総合的・実践的な研究を行い、専門的知識と国際感覚を身につけた研究者、または高度専門職業人として地域社会に貢献することをめざす人を求めています。

② 表象・物質情報教育研究分野

表象・物質情報教育研究分野が求める入学者

表象、民俗文化、テキスト、メディア、物質資料などを対象に、文化・歴史・思想の分野で国際的・学際的視野を持って研究を行い、博物館・美術館の学芸員、教育、研究、メディア関係などの領域で、高度な知識をもって活躍しようとする人を求めています。

③ 言語行動教育研究分野

言語行動教育研究分野が求める入学者

異文化間の円滑なコミュニケーションを図る上で必要となる異文化間理解に強い関心を持ち、日本語教員・英語教員など異文化間コミュニケーションに関わる高度職業人や広い視野を持った言語研究者として社会に貢献したい人を求めています。

④ 地域スポーツ学教育研究分野

地域スポーツ学教育研究分野が求める入学者

地域スポーツに内在する諸問題を様々な角度から総合的に捉え、これまで蓄積されてきた多角的なスポーツ科学の知見を踏まえつつ社会に貢献したい人を求めています。

（２）公共研究専攻

① 公共思想制度研究教育研究分野

公共思想制度研究教育研究分野が求める入学者

現代社会の諸問題に対処しうる公共的市民を育成することを目指し、そうした諸問題を市民として思想的・歴史的観点から研究するとともに、また具体的に福祉・環境・雇用などの現実的・実践的政策を探究しようとする学生を求めています。

② 共生社会基盤研究教育研究分野

共生社会基盤研究教育研究分野が求める入学者

現代世界において共生型社会を築くにあたって不可欠の基盤である、多様な文化・地域間の相互理解を増進させるため、さまざまな地域の言語・文化・歴史について深く学び、国際的視野を身につけようとする学生を求めています。

（３）社会科学研究専攻

① 法学基礎理論教育研究分野

法学基礎理論教育研究分野が求める入学者

本教育研究分野は、社会の諸問題を法学の手法から解決するための研究能力を養成するとともに、日本社会や国際社会に貢献するのに必要な学識を授けることを目的としています。その実践に向けた知的創造活動に積極的なひとの入学を求めています。

② 経済理論・政策学教育研究分野（経済理論・政策学コースワーク・プログラム）

経済理論・政策学教育研究分野（経済理論・政策学コースワーク・プログラム）が求める入学者

複雑な現代社会に次々と発生する社会的諸問題を社会科学的視野で把握し、批判的・創造的見地から分析しうる人材を養成することを目指しています。その必要要件として、経済学、数学の基礎知識および、知識を獲得する能力としての読解力・資料解析力、収集した事実をもとに展開する論理的思考力、その結果を的確にまとめ公表できる文章表現力とプレゼンテーション力を持つ人を求めています。

③ 経済理論・政策学教育研究分野（金融経済アナリスト・プログラム）

経済理論・政策学教育研究分野（金融経済アナリスト・プログラム）が求める入学者

本プログラムは、金融や経済に興味を持ち、理論的な方法によって社会経済を分析し、理解しようとする意欲のある社会人や学生を求めています。具体的には、金融機関、研究所、官公庁等に勤務する社会人、経済学の知識を求めている理科系学生、およびエコノミストとしての活動を希望する学生などを求めています。

（４）総合文化研究専攻

① 言語構造教育研究分野

言語構造教育研究分野が求める入学者

人間の諸活動の根幹をなす〈言語〉に知的関心を持ち、その構造、機能、歴史など、言語の諸相を科学的に解明して、思考やコミュニケーションの基盤をより深く理解し、その成果を個人と社会の発展につなげていく意欲と能力のある人を求めています。

公共研究専攻

新しい学問分野である公共研究の領域で旧来の諸科学の協力のもとに公共と共生をキーワードに思想・哲学的研究と政策制度的研究を組み合わせる専門的・学際的研究を行い、社会に貢献したい人を求めています。

社会科学研究専攻

法学基礎理論、経済理論・政策学コースワーク、金融経済アナリストなどの分野で理論的・政策的研究と金融的・統計的研究を深化させて系統的に学びたい人を求めます。

総合文化研究専攻

言語構造、比較文化、人間行動の分野で、体系性と積み上げ構造を重視しながら研究を行い、未来社会についての学問的視点を涵養したい人を求めます。

先端経営科学専攻

経営学・会計学・行政学・財政学を総合的に学ぶことを通じて得られた識見により、一般的には高度職業専門人、具体的には企業人、会計専門職、行政機関・NPO・NGOの従事者として社会に貢献したい人を求めます。

博士後期課程

博士後期課程では、人文社会科学各分野の博士学位論文を３年間で完成させて博士の学位を取得することができる能力を持った人、そのプロセスで学問研究を多角的かつ緻密に行い、あくまでも謙虚な態度で先人の業績に学びつつ、独創的な知見を自ら編み出し、広く学問と専門領域に貢献することをめざす人を求めます。

公共研究専攻

公共研究という新しい分野に挑戦し、哲学・歴史・国際文化・政策・教育の諸分野を学際的かつ集中的に学ぶことをめざす人を求めます。

社会科学研究専攻

法学・政治学・経済学・経営学の社会科学分野において率先して新しい概念や方法の探究にいそしみ、学問研究を一生の仕事として追及する人を求めます。

文化科学研究専攻

人間の言語・文化活動について多面的な検討を行い、人類の文化的営為について深く考察し、未来に向けた文化の継承と発展に寄与することを目的として学問研究に没頭する人を求めます。

		② 比較文化教育研究分野 比較文化教育研究分野が求める入学者 主にヨーロッパとアメリカの文化を、独自の視点から専門的かつ体系的に研究し、またそれを別の文化あるいは現代の日本と対比しながら、今後の社会に関する学問的視点を涵養しようとする人を求めています。 ③ 人間行動教育研究分野 人間行動教育研究分野が求める入学者 哲学・心理学・認知情報科学・社会学・文化人類学の各専門領域を更に深く探求するために必要な方法論を教授すると共に、学問相互の有機的関連性について総合的視野を養うことができるよう、学際的な教育研究を実践しています。基礎的専門知識を有し、論理的・批判的思考力および外国語能力を備え、独創性と説得力に富む学術論文を国内外に発信する志の高い人材を求めています。 (5) 先端経営科学専攻 ① 先端経営科学教育研究分野 先端経営科学教育研究分野が求める入学者 いわゆる専門職大学院ではありませんが、修士課程修了後に社会の第一線で活躍する高度専門職業人の養成を目指しています。社会の様々な問題に強い関心を持ち、それを学問的に分析できる能力を養いたいと考える人物の入学を求めています。 【博士後期課程】 (1) 公共研究専攻 公共研究専攻が求める入学者 人文社会科学研究科の中でも、公共研究という新しい分野に挑戦し、法学・経済学・哲学・歴史・国際文化・公共政策・教育の諸分野を学際的かつ集中的に学ぶことをめざす人を求めています。 (2) 社会科学研究専攻 社会科学研究専攻が求める入学者 法学、政治学、経済学、経営学の分野において各専門分野の最先端の研究に従事し、または他の学問分野との連携を図る学際的な研究領域を開拓する人材を求めています。 (3) 文化科学研究専攻 文化科学研究専攻が求める入学者 人間の言語・文化活動について多面的な検討を行い、人類の文化的営為について深く考察し、未来に向けた文化の継承と発展に寄与することを目的として学問研究に専心する人を求めています。	
融合科学研究科及び同研究科各専攻入学者受入れ方針の変更	平成22年 8 月26日	【千葉大学大学院融合科学研究科入学者受入れの方針】 千葉大学大学院融合科学研究科の求める入学者 千葉大学大学院融合科学研究科は、自然科学を広い視野から体系的に理解し、高い倫理観を持って幅広く発展させることのできる人の入学を求めています。修了後は、博士前期課程においては主に高度専門職業人として、博士後期課程においてはさらに先導的な研究者として、社会の発展に貢献することを期待します。 【博士前期課程】 (1) ナノサイエンス専攻 ① ナノ物性コース ナノ物性コースが求める入学者 物質の構造や機能をナノレベルで解明するナノサイエンスや、それらの最新成果を応用するナノテクノロジーへの好奇心と勉強意欲を有し、未踏ナノ研究分野に果敢に挑戦して得られる最先端科学技術を駆使してのグローバルな社会貢献に熱意と能力を有する人を求めています。 ② ナノバイオロジーコース ナノバイオロジーコースが求める入学者 生物システムを様々な手法を用いてナノレベルで解明し、それを元にして細胞から個体レベルまでの各次元で生物機能の制御およびその応用に取り組む熱意を持ち、修了後は諸分野で専門知識を活かして活躍しようとする人を求めています。 (2) 情報科学専攻 ① 画像マテリアルコース 画像マテリアルコースが求める入学者 豊かな感性を育み、深く思考し、自分の個性と能力ならびに画像科学に関する学識を活かして社会に貢献できる高度技術者の育成を目指しています。そこで、自然科学に関する基礎学力を身につけ、画像科学分野に興味をもち、それに関する高度な知識と経験を身につける意欲と素質をもっている人の入学を求めています。 ② 知能情報コース 知能情報コースが求める入学者 情報工学分野における課題解決に対する関心が旺盛であり、認知科学から数理、情報処理、画像の計測・処理・解析、ヒューマンインタフェース、ハードウェア、ソフトウェア、通信などの幅広い学問視野に立ち、時代を切り開く学識を身につける意欲と能力のある人の入学を求めています。	ナノサイエンス専攻 博士前期課程：ナノ物性やナノバイオロジーの分野にはまだ解明されていない多くの問題が残っており、今後どのような進展をしていくのか全く分かっていない。応用に関しても正、負の側面が明らかになりつつある。このような新しい分野の研究を行う為に必要な基礎学力は多岐にわたる。そのための基礎学力を身につけた上で、従来の数学、物理、化学、生物の枠組みにとらわれない広い視野を有し、ナノテクノロジー、ナノサイエンスの研究に果敢に挑戦する情熱を持っている人を歓迎する。また国際的視野に立って、研究討論等を外国語で行える国際的研究能力を身につける事も重要である。そのような経験をしてみたいと思うような意欲のある人を歓迎する。 博士後期課程： ナノ物性やナノバイオロジーの分野のような新しい分野の研究を行う為に必要な基礎学力は多岐にわたるので、他の専攻以上に広い範囲の基礎学力を身につけることが重要である。その上で、従来の数学、物理、化学、生物の枠組みにとらわれない広い視野を有し、ナノテクノロジー、ナノサイエンスの研究に果敢に挑戦する情熱を持っている人を歓迎する。また、この分野は国際的に研究競争が激烈で、国際会議等で研究発表し、外国の研究者との討論を外国語で行う国際的研究能力を実践して身につけようとする意欲のある人を歓迎する。特に、2つのコースでは、以下のことに興味を持つ人を歓迎する。 ナノ物性コース： 物質の構造や機能をナノレベルで解明する。手法として最新の分光学や観測法などを用いるが、それらの手段の開発も行われている。一方それら手法を基にした理論解析や新規ナノスケール素材・素子の開発も行われている。これらの研究に取り組む熱意のある人。 ナノバイオロジーコース： 生物システムのメカニズムをナノレベルで様々な手法を用いて解明する。それらを基にして細胞や動物・植物個体レベルの各次元での生物機能の発現・制御や応用に取り組む。これらの研究に取り組む熱意のある人。 情報科学専攻（前期課程、後期課程） 画像マテリアルコース： 画像工学に関わる基礎から応用に至る高度な画像材料技術、さらに人間の感性に立脚した画像評価の習得を通じ、社会の中核となる高度技術者の育成を目指しています。以上の観点から次のような学生を広く国内外から受け入れます。 1. 基礎学問あるいはその応用についての知識を身につけている。 2. 画像に興味をもち、それに関する高度な学問を身につける意欲と素質をもっている。

		【博士後期課程】 (1) ナノサイエンス専攻 ① ナノ物性コース ナノ物性コースが求める入学者 ナノサイエンスに関する研究を通じて、国際的研究環境のもとで自立して研究活動を行うのに必要な豊かな学識と高度な専門知識を持った思考能力の高い研究者を目指す人の入学を求めています。 ② ナノバイオロジーコース ナノバイオロジーコースが求める入学者 生物システムのメカニズムを解明するためにナノレベルで研究を行い、国際的な評価を受ける成果をあげようとする意欲を持ち、修了後は研究を中心とした分野で、専門知識を活かして活躍しようとする人を求めています。 (2) 情報科学専攻 ① 画像マテリアルコース 画像マテリアルコースが求める入学者 高度な論理的思考および独創性を有し、国際的な視野をもつ研究者あるいは高度専門技術者の育成を目指しています。そこで、思考能力が高く、独創性を有し、画像科学分野を開拓する意欲を有し、国際的視野をもっている人の入学を求めています。 ② 知能情報コース 知能情報コースが求める入学者 情報科学に関する高度な知識と研究能力を礎として、情報処理工学、物理情報工学、人間情報科学に関する幅広い領域・応用分野において、高い課題発見能力と応用展開力、及び独創的・国際的な研究遂行能力を身につける意欲のある人の入学を求めています。	知能情報コース： 情報工学に関わる基礎から応用に至る高度な情報技術の習得を通じ、情報社会の中核となる高度技術者の育成を目指しています。以上の観点から 1. 情報工学に強い知的好奇心を持ち、 2. 新しい情報化社会を創成する意欲を持つ、人材を求めます。
医学薬学府及び同学府各専攻入学者受入れ方針の変更	平成22年 8 月31日	【千葉大学大学院医学薬学府入学者受入れの方針】 千葉大学大学院医学薬学府の求める入学者 千葉大学大学院医学薬学府は、医学薬学融合型の大学院として、医学・薬学並びに関連する専攻分野において、研究者として自立し研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うとともに、全人的視野に立った医療従事者、医学薬学の知識を持つ先端的生命科学研究者を育成することを目的としています。この目的の実現のため、十分な学力を基盤として、創成的医療と創造的医学薬学研究に積極的に取り組む学生の入学を求めています。 【修士課程】 (1) 医科学専攻 医科学専攻が求める入学者 医科学専攻は、新たな学問体系を網羅する多様な知識を備え、科学の社会的役割ないし責任を正しく理解できる豊かな人間性を持ち、かつ21世紀の国民のニーズに応え得る医学・医療系の人材の育成を目指しています。この目的の実現のため、一般的基礎知識に裏づけられた広い視野と柔軟な思考力を持った学生の入学を求めています。 (2) 総合薬品科学専攻 総合薬品科学専攻が求める入学者 総合薬品科学専攻は、生命科学を基礎として医薬品の開発や化学物質と生体との関わり等に関して総合的、実践的な教育研究を行い、専門的知識と国際感覚を身につけて社会に貢献する意欲を持つ人を求めています。 【4年博士課程】 (1) 環境健康科学専攻 環境健康科学専攻が求める入学者 環境健康科学専攻は、環境的要因が遺伝学的要因との相互作用に基づいて人体に及ぼす影響を科学的に研究・教育する学問体系や高齢者のための新しい学問領域体系を確立するとともにその成果を実践できる人材の育成を目指しています。この目的の実現のため、十分な学力を基盤として、創造的環境健康科学研究に積極的に取り組む学生の入学を求めています。 (2) 先進医療科学専攻 先進医療科学専攻が求める入学者 先進医療科学専攻は、疾病病態を解析し、新たな診療治療法を開発し、かつ開発された技術（高度先進医療）を実践できる人材、高度先進医療で必要とされる遺伝子薬剤などの未来型薬剤の開発並びに安全管理を担当できるような疾病・病態を分子レベルから細胞レベルで理解できる人材の育成を目指しています。この目的の実現のため、十分な学力を基盤として、新たな医療の創成に積極的に取り組む学生の入学を求めています。 (3) 先端生命科学専攻 先端生命科学専攻が求める入学者 先端生命科学専攻は、体系化された新しい先端生命科学領域の研究・教育・臨床医学を担う先端的・学際的・国際的研究により、医学・薬学の広い知識と豊かな創造力・研究能力を養い、高い倫理観を身につけた国民のニーズに応えられる優れた研究・教育者の育成を目指しています。この目的の実現のため、十分な学力を基盤として、創造的先端生命科学研究に積極的に取り組む学生の入学を求めています。	本学府は医学薬学融合型の大学院として、医学・薬学並びに関連する専攻分野において、研究者として自立し研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うとともに、全人的視野に立った医療従事者、医学薬学の知識を持つ先端的生命科学研究者を育成することを目的としています。 そのために、本学府は次のような人の入学を求めています。 1) 豊かな基礎知識に裏付けられた広い視野と柔軟な思考力を備えた人 2) 責任感溢れる次のような人の入学を求めています。 3) 生命科学を基礎として国際性豊かな独創性のある医学・薬学研究者を目指す人 4) 高度の専門技術と研究能力を備え、かつチーム医療を担える統合的視野をもった優れた先進的医療人を目指す人 5) 医療品の創製とその臨床応用に貢献できる医学薬学研究・教育者を目指す人

		【後期３年博士課程】 (１) 創薬生命科学専攻 創薬生命科学専攻が求める入学者 創薬生命科学専攻は、薬学並びに関連する専攻分野において、国際性豊かな独創的研究を展開し、医薬品の開発や臨床応用を通じて、人類の健康や福祉の促進に貢献する先端的研究者を目指す人を求めています。	
専門法務研究科入学者 受入れ方針の変更	平成22年 9 月29日	【千葉大学大学院専門法務研究科入学者受入れの方針】 千葉大学大学院専門法務研究科の求める入学者 千葉大学大学院専門法務研究科（法科大学院）は、日々の現実の中に存在する法律問題を鋭く認識し、その公正な解決のために、プロフェッショナルとして法を創造的に用いることができるとともに、常に生活者の視点を忘れない「心」ある法律家の養成を目指しています。すでに法学を学んだ者であるか否かを問わず、この目的に共感し、法による社会正義の実現に強く使命を感じる人材の入学を求めています。	千葉大学大学院専門法務研究科（法科大学院）は、日々の現実の中に存在する法律問題を鋭く認識し、その公正な解決のために、プロフェッショナルとして法を創造的に用いることのできる法曹人材の養成を目的とする。その人材は、柔軟な法的思考能力を有し、知的能力の高さに加えて、社会正義の実現に貢献する気構えを持ち、弁護士として最先端の法分野で活躍する場合にも、また裁判官あるいは検察官として公に奉仕する立場にあっても、常に生活者の視点を忘れない「心」ある法律家である。本研究科は、この理念を「生きている一人ひとりのために」とも表現する。 こうして、本研究科は、すでに法学を学んだ者であるか否かを問わず、次のような人材を学生として受け入れ、その教育によって社会に貢献したいと考える。 一 首都圏における市民の日常生活上の法律問題に積極的に取り組み、市民生活を支える法曹となることを志す者 二 高い知的能力を有するとともに、本研究科の上記目的に共感し、法による社会正義の実現に強く使命を感じる者

2. 東京工業大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員及び収容定員 の変更	平成23年 4 月 1 日	(課程、研究科、専攻) (入学定員) (収容定員)		(課程、研究科、専攻) (入学定員) (収容定員)	
		(修士課程)		(修士課程)	
		理工学研究科		理工学研究科	
		化学専攻	41人 76人	化学専攻	35人 70人
		物質科学専攻	32人 61人	物質科学専攻	29人 58人
		材料工学専攻	43人 79人	材料工学専攻	36人 72人
		有機・高分子物質専攻	51人 97人	有機・高分子物質専攻	46人 92人
		応用化学専攻	27人 47人	応用化学専攻	20人 40人
		化学工学専攻	28人 54人	化学工学専攻	26人 52人
		機械物理工学専攻	44人 79人	機械物理工学専攻	35人 70人
		機械制御システム専攻	52人 95人	機械制御システム専攻	43人 86人
		機械宇宙システム専攻	29人 53人	機械宇宙システム専攻	24人 48人
		電気電子工学専攻	35人 62人	電気電子工学専攻	27人 54人
		電子物理工学専攻	36人 64人	電子物理工学専攻	28人 56人
		集積システム専攻	32人 59人	集積システム専攻	27人 54人
		土木工学専攻	27人 48人	土木工学専攻	21人 42人
		建築学専攻	36人 68人	建築学専攻	32人 64人
		国際開発工学専攻	26人 50人	国際開発工学専攻	24人 48人
		原子核工学専攻	26人 42人	原子核工学専攻	16人 32人
		生命理工学研究科		生命理工学研究科	
		分子生命科学専攻	29人 50人	分子生命科学専攻	21人 42人
		生体システム専攻	26人 44人	生体システム専攻	18人 36人
		生命情報専攻	31人 49人	生命情報専攻	18人 36人
		生物プロセス専攻	30人 50人	生物プロセス専攻	20人 40人
		生体分子機能工学専攻	30人 51人	生体分子機能工学専攻	21人 42人
		総合理工学研究科		総合理工学研究科	
		物質科学創造専攻	44人 71人	物質科学創造専攻	27人 54人
		物質電子化学専攻	48人 92人	物質電子化学専攻	44人 88人
		材料物理科学専攻	43人 84人	材料物理科学専攻	41人 82人
		環境理工学創造専攻	40人 71人	環境理工学創造専攻	31人 62人
		化学環境学専攻	40人 74人	化学環境学専攻	34人 68人
		物理電子システム創造専攻	46人 80人	物理電子システム創造専攻	34人 68人
		メカノマイクロ工学専攻	31人 53人	メカノマイクロ工学専攻	22人 44人
		物理情報システム専攻	41人 80人	物理情報システム専攻	39人 78人
		情報理工学研究科		情報理工学研究科	
		数理・計算科学専攻	31人 59人	数理・計算科学専攻	28人 56人
		計算工学専攻	45人 79人	計算工学専攻	34人 68人
		情報環境学専攻	40人 76人	情報環境学専攻	36人 72人

		社会理工学研究科			社会理工学研究科		
		人間行動システム専攻	27人	51人	人間行動システム専攻	24人	48人
		価値システム専攻	26人	38人	価値システム専攻	12人	24人
		経営工学専攻	38人	69人	経営工学専攻	31人	62人
		社会工学専攻	33人	61人	社会工学専攻	28人	56人
		(博士後期課程)			(博士後期課程)		
		理工学研究科			理工学研究科		
		電気電子工学専攻	13人	33人	電気電子工学専攻	10人	30人
		電子物理学専攻	12人	30人	電子物理学専攻	9人	27人
		原子核工学専攻	12人	30人	原子核工学専攻	9人	27人
		生命理工学研究科			生命理工学研究科		
		生体システム専攻	9人	21人	生体システム専攻	6人	18人
		生命情報専攻	9人	21人	生命情報専攻	6人	18人
		生体分子機能工学専攻	11人	27人	生体分子機能工学専攻	8人	24人
		情報理工学研究科			情報理工学研究科		
		計算工学専攻	15人	39人	計算工学専攻	12人	36人
		イノベーションマネジメント研究科			イノベーションマネジメント研究科		
		イノベーション専攻		30人	イノベーション専攻		27人
		(専門職学位課程)			(専門職学位課程)		
		イノベーションマネジメント研究科			イノベーションマネジメント研究科		
		技術経営専攻	40人	75人	技術経営専攻	35人	70人

3. 横浜国立大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
大学院研究科・専攻、学部・学科（課程）の設置、廃止	平成23年4月1日	（研究科、学府、専攻） 教育学研究科 教育実践専攻	（研究科、学府、専攻） 教育学研究科 学校教育臨床専攻 学校教育専攻 特別支援教育専攻 言語文化系教育専攻 社会系教育専攻 自然系教育専攻 生活システム系教育専攻 健康・スポーツ系教育専攻 芸術系教育専攻
		工学府 機能発現工学専攻 システム統合工学専攻 物理情報工学専攻	工学府 機能発現工学専攻 システム統合工学専攻 社会空間システム学専攻 物理情報工学専攻
		都市イノベーション学府 建築都市文化専攻 都市地域社会専攻 都市イノベーション専攻	
		（学部、課程、学科） 教育人間科学部 学校教育課程 人間文化課程	（学部、課程、学科） 教育人間科学部 学校教育課程 地球環境課程 マルチメディア文化課程 国際共生社会課程
		理工学部 機械工学・材料系学科 化学・生命系学科 建築都市・環境系学科 数物・電子情報系学科	工学部 生産工学科 物質工学科 建設学科 電子情報工学科 知能物理工学科

収容定員・入学定員の変更、学生募集の停止	平成23年 4 月 1 日	(研究科、学府) (入学定員) (収容定員) 教育学研究科 100人 200人 うち修士課程 100人 200人 工学府 363人 767人 うち博士課程前期 322人 644人 うち博士課程後期 41人 123人 環境情報学府 221人 490人 うち博士課程前期 173人 346人 うち博士課程後期 48人 144人 都市イノベーション学府 117人 246人 うち博士課程前期 105人 210人 うち博士課程後期 12人 36人 (学部) (入学定員) (収容定員) 教育人間科学部 380人 1,520人 理工学部 745人 2,980人 工学部 (学生募集の停止) 0人 0人	(研究科、学府) (入学定員) (収容定員) 教育学研究科 130人 260人 うち修士課程 130人 260人 工学府 394人 839人 うち博士課程前期 343人 686人 うち博士課程後期 51人 153人 環境情報学府 206人 472人 うち博士課程前期 146人 292人 うち博士課程後期 60人 180人 (学部) (入学定員) (収容定員) 教育人間科学部 460人 1,840人 工学部 665人 2,660人
入学者受入方針（アドミッションポリシー）の変更	平成23年 4 月 1 日	都市イノベーション学府 本学府は、都市に係る多様なイノベーションを目指そうとする人材、グローバルな視点と高度な思考力を備えた人材を対象として、入学者選抜を実施する方針です。特に、本学府の掲げる以下の理念に対して、強い意欲と関心のある人材を求めています。 ①人間と自然に優しく、美しい都市空間に係るイノベーション。感染を高める都市の価値づくり。 ②科学的評価と諸資源のマネジメント手法に係るイノベーション。人々の共感による都市づくり。 ③歴史的・文化的・社会的な固有性の共生に係るイノベーション。共生と連帯によるグローバルな環境づくり。 都市イノベーション学府 建築都市文化専攻（博士課程前期） 持続可能で成熟した豊かな都市・建築空間を創造するための礎となる芸術活動や思想・工学に関心があり、建築・都市に関する高度な専門家となるための感性と情熱を有する人 都市イノベーション学府 都市地域社会専攻（博士課程前期） 国内外における地域の特性を社会・文化・歴史を含めて深く理解し安全・安心な都市および国土の創造や再生、異なる地域の相互理解や交流に意欲を有する人。 都市イノベーション学府 都市イノベーション専攻（博士課程後期） 建築学・都市計画・都市基盤学などの自然科学・工学系の知識と、芸術文化・社会文化の多様な展開に関する知識を有し、より高いレベルでのグローバルな都市イノベーションに係り、指導的役割を果たそうと志望する人。 教育人間科学部 人間文化課程 現代の社会と文化に関心があり、その未来にたいして積極的に参加していこうと希望する学生、異なる文化に生きる他者との外国語能力も含めたコミュニケーションの力を身につけ、その間にたつて双方向的に活動したいと希望する学生、企画立案と運営、さらに公共空間への発信とそのなかでの琢磨によって自ら成長を図りたいと希望する学生を求めます。 理工学部 機械工学・材料系学科 機械工学または材料工学に興味を持ち、それを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力を持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めます。 理工学部 化学・生命系学科 自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。 理工学部 建築都市・環境系学科 建築都市・環境系学科は、建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らして活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。	教育人間科学部 マルチメディア文化課程 ○マルチメディアが単なる技術でなく現在の科学や文化を担うメディアであると考えたい人 ○CGやコンピュータ音楽などの文化活動とそれを実現する数理的原理に関心を持つ人 教育人間科学部 国際共生社会課程 ○国際感覚を養い、高度な外国語能力を習得し、外国文化の深い理解を目指す人 ○共生社会の実現を目指し社会的調整能力を身につけたい人 ○文化の多様性への理解を深めたい人 工学部 生産工学科 ○機械工学・材料工学やものづくりに興味を持っている人 ○主に数学・物理などの基礎的能力を持っている人 ○向学心、創造性を伸ばし、豊かな教養と国際的視野を育てたい人 工学部 物質工学科 ○ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持つ人 ○豊かな21世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人 ○向学心に燃え、発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人

		理工学部 数物・電子情報系学科 数学・物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲にみちあふれた人を求めます。また、数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人を求めます。	工学部 建設学科 ○橋などの大きなものを作ってみたい人 ○地図に載るようなものを作ってみたい人 ○子孫のために美しい国土や街並みを残したい人 ○みんなで協力して造り上げたいと考える人 ○自分が理想とする建物を造ってみたいと考える人 ○建物の構造や材料、工法などに興味がある人 ○未来の都市空間を創造してみたい人 ○建築物の歴史や造形に興味のある人 ○海や船舶について工学的な視点から探求してみたい人 ○宇宙開発や航空工学に興味のある人 ○海洋空間や宇宙空間を利用した都市建設など未来的なプロジェクトに夢を描ける人 工学部 電子情報工学科 ○高度情報化社会を支える先端科学技術の創造を目指す人 ○専門能力だけでなく表現、議論、企画、経営など多様な能力獲得を目指す人 ○未知の問題を自ら発見し解決したい人 工学部 知能物理工学科 ○科学や技術の分野で新しい時代を切り開きたい人 ○物理学に強い興味を持ち自然現象を究めたいと思う人 ○実験や計算機シミュレーションなどを通じて自然現象を解明したい人
--	--	--	--

4. 新潟大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
附置研究所「災害・復興科学研究所」の設置	平成23年 4 月 1 日	(名称) 災害・復興科学研究所	 (新設) ※「災害復興科学センターを改組したもの

5. 金沢大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
①医薬保健学域医学類における収容定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(名称) (収容定員) 医薬保健学域 1,927人 医学類 697人	(名称) (収容定員) 医薬保健学域 1,922人 医学類 692人 注) 医学類の編入学（定員5）の年次が3年次から2年次へ変更になったことに伴う収容定員の変更
②附置研究所の名称変更	平成23年 4 月 1 日	(名称) がん進展制御研究所	(名称) がん研究所

6. 岐阜大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
入学定員及び収容定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(学部、課程) (入学定員) (収容定員) 教育学部 学校教育教員養成課程 230人 920人 特別支援学校教員養成課程 20人 80人 応用生物科学部 応用生命科学課程 80人 330人 ※ 収容定員は編入学を含む (学部、課程) (入学定員) (2年次編入) (収容定員) 応用生物科学部 獣医学課程 25人 5人 175人	(学部、課程) (入学定員) (収容定員) 教育学部 学校教育教員養成課程 200人 800人 特別支援学校教員養成課程 15人 60人 生涯教育課程 35人 140人 応用生物科学部 食品生命科学課程 80人 330人 ※ 収容定員は編入学を含む (学部、課程) (入学定員) (3年次編入) (収容定員) 応用生物科学部 獣医学課程 25人 5人 170人

7. 浜松医科大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
収容定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(学科) (入学定員) (2年次後期編入) (収容定員) 医学科 115人 5人 645人	(学科) (入学定員) (2年次後期編入) (収容定員) 医学科 115人 5人 625人

8. 和歌山大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員・収容定員の変更	平成21年 4 月 1 日	(研究科、課程、専攻)		(入学定員) (収容定員)	
		教育学研究科		教育学研究科	
		修士課程	学校教育専攻	12人	24人
		修士課程	教科教育専攻	33人	66人
		小計		45人	90人
		経済学研究科		経済学研究科	
		修士課程	経済学専攻	22人	44人
		修士課程	経営学専攻	15人	30人
		修士課程	市場環境学専攻	10人	20人
		小計		47人	94人
		システム工学研究科		システム工学研究科	
		博士前期課程	システム工学専攻	129人	258人
		博士後期課程	システム工学	8人	24人
		小計		137人	282人
		合計		229人	466人
観光学研究科の設置 上記に伴う定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(研究科、課程、専攻)		(入学定員) (収容定員)	
		教育学研究科		教育学研究科	
		修士課程	学校教育専攻	12人	24人
		修士課程	教科教育専攻	33人	66人
		小計		45人	90人
		経済学研究科		経済学研究科	
		修士課程	経済学専攻	19人	38人
		修士課程	経営学専攻	13人	26人
		修士課程	市場環境学専攻	10人	20人
		小計		42人	84人
		システム工学研究科		システム工学研究科	
		博士前期課程	システム工学専攻	129人	258人
		博士後期課程	システム工学	8人	24人
		小計		137人	282人
		観光学研究科		観光学研究科	
		修士課程	観光学専攻	5人	10人
		小計		5人	10人
		合計		229人	466人

※ 収容定員は、学年進行終了後の人数

9.鳥取大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較							
		新			旧				
①平成23年度から平成31年度までにおける医学部医学科及び合計の入学定員、編入学定員及び収容定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(学部、学科、年度)	(入学定員) (編入学定員) (収容定員)			(学部、学科、年度)	(入学定員) (編入学定員) (収容定員)		
		医学部医学科				医学部医学科			
		平成23年度	102人	5人	535人	平成23年度	98人	5人	531人
		平成24年度	102人	5人	562人	平成24年度	98人	5人	554人
		平成25年度	102人	5人	589人	平成25年度	98人	5人	577人
		平成26年度	102人	5人	616人	平成26年度	98人	5人	600人
		平成27年度	102人	5人	633人	平成27～29年度	98人	5人	613人
		平成28～29年度	102人	5人	637人	平成30年度	93人	5人	608人
		平成30年度	97人	5人	632人	平成31年度	93人	5人	603人
		平成31年度	97人	5人	627人				
		合計				合計			
		平成23年度	1,137人	20人	4,775人	平成23年度	1,133人	20人	4,771人
		平成24年度	1,137人	20人	4,802人	平成24年度	1,133人	20人	4,794人
		平成25年度	1,137人	20人	4,829人	平成25年度	1,133人	20人	4,817人
		平成26年度	1,137人	20人	4,856人	平成26年度	1,133人	20人	4,840人
		平成27年度	1,137人	20人	4,873人	平成27～29年度	1,133人	20人	4,853人
		平成28～29年度	1,137人	20人	4,877人	平成30年度	1,128人	20人	4,848人
		平成30年度	1,132人	20人	4,872人	平成31年度	1,128人	20人	4,843人
		平成31年度	1,132人	20人	4,867人				
		備考 医学部医学科の編入学定員は、第2年次編入学定員とする。							
②医学系研究科医学専攻の入学定員及び収容定員の変更	平成23年 4 月 1 日	(研究科、課程、専攻)	(入学定員) (収容定員)			(研究科、課程、専攻)	(入学定員) (収容定員)		
		医学系研究科				医学系研究科			
		博士課程				博士課程			
		医学専攻		30人	120人	医学専攻		49人	196人
		合計		369人	852人	合計		388人	928人

10.岡山大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較							
		新			旧				
医学部医学科の入学定員及び第3年次定員の変更	平成23年4月1日	(学部、学科、年度)		(入学定員)(収容定員)		(学部、学科、年度)		(入学定員)(収容定員)	
		医学部				医学部			
		医学科				医学科			
		平成23年度	115人	642人※	平成23年度	112人	639人※		
		平成24年度	115人	662人※	平成24年度	112人	656人※		
		平成25年度	115人	682人※	平成25年度	112人	673人※		
		平成26年度	115人	702人※	平成26年度	112人	690人※		
		平成27年度	115人	712人※	平成27～29年度	112人	697人※		
		平成28～29年度	115人	715人※	平成30年度	107人	692人※		
		平成30年度	110人	710人※	平成31年度	107人	687人※		
		平成31年度	110人	705人※	平成32年度	100人	675人※		
		平成32年度	100人	690人※	平成33年度	100人	663人※		
		平成33年度	100人	675人※	平成34年度	100人	651人※		
		平成34年度	100人	660人※	平成35年度	100人	639人※		
		平成35年度	100人	645人※	平成36年度	100人	632人※		
		平成36年度	100人	635人※	平成37年度	100人	625人※		
		平成37年度～	100人	625人※					
歯学部歯学科の入学定員の変更	平成23年4月1日	(学部、学科)		(入学定員)(収容定員)		(学部、学科)		(入学定員)(収容定員)	
		歯学部				歯学部			
		歯学科		48人	308人※	歯学科		55人	350人※
工学部の改組に伴う変更	平成23年4月1日	(学部、学科)		(入学定員)(収容定員)		(学部、学科)		(入学定員)(収容定員)	
		工学部				工学部			
		機械システム系学科		160人	640人	機械工学科		80人	320人
		電気通信系学科		100人	400人	物質応用化学科		60人	240人
		情報系学科		60人	240人	電気電子工学科		60人	240人
		化学生命系学科		140人	560人	情報工学科		60人	240人
						生物機能工学科		80人	320人
						システム工学科		80人	320人
				通信ネットワーク工学科		40人	160人		

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科の収容定員は編入学定員を含む

11.愛媛大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
教育研究組織の新設		(名称) 女性未来育成センター 教職総合センター	(平成22年7月) (平成22年11月)
医学部の収容定員の変更	平成23年4月1日	(学部、学科) (収容定員) 医学部 医学科 609人 看護学科 260人 計 869人	(学部、学科) (収容定員) 医学部 医学科 592人 看護学科 260人 計 852人
大学全体の収容定員の変更	平成23年4月1日	(収容定員) 大学全体 7,489人	(収容定員) 大学全体 7,472人

12.高知大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
入学定員・編入学定員・収容定員の変更	平成23年4月1日	(学部、学科) (入学定員) (収容定員) 医学部医学科 平成23年度 110人 612人 平成24年度 110人 632人 平成25年度 110人 652人 平成26年度 110人 672人 平成27年度 110人 682人 平成28年度 110人 685人 平成29年度 110人 685人 平成30年度 105人 680人 平成31年度 105人 675人 平成32年度以降 未定	(学部、学科) (入学定員) (収容定員) 医学部医学科 平成22年度 107人 592人

※ 収容定員は編入学定員を含む

13.北陸先端科学技術大学院大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
研究科の改組（専攻の改組とそれに伴う入学定員の変更）	平成20年4月1日	(研究科、専攻、課程) (入学定員) 知識科学研究科 知識科学専攻（博士前期課程） 90人 （博士後期課程） 30人 情報科学研究科 情報科学専攻（博士前期課程） 132人 （博士後期課程） 39人 マテリアルサイエンス研究科 マテリアルサイエンス専攻（博士前期課程） 125人 （博士後期課程） 37人	(研究科、専攻、課程) (入学定員) 知識科学研究科 知識社会システム学専攻（博士前期課程） 45人 （博士後期課程） 15人 知識システム基礎学専攻（博士前期課程） 45人 （博士後期課程） 15人 情報科学研究科 情報処理学専攻（博士前期課程） 67人 （博士後期課程） 20人 情報システム学専攻（博士前期課程） 65人 （博士後期課程） 19人 マテリアルサイエンス研究科 物性科学専攻（博士前期課程） 60人 （博士後期課程） 18人 機能科学専攻（博士前期課程） 65人 （博士後期課程） 19人

研究科の改組（入学定員及び収容定員の変更）	平成23年 4 月 1 日	（研究科、専攻、課程）		（入学定員）	（収容定員）	（研究科、専攻、課程）		（入学定員）	（収容定員）
		平成23年度				平成22年度まで			
		知識科学研究科				知識科学研究科			
		知識科学専攻（博士前期課程）		86人	176人	知識科学専攻（博士前期課程）		90人	180人
		（博士後期課程）		28人	88人	（博士後期課程）		30人	90人
		情報科学研究科				情報科学研究科			
		情報科学専攻（博士前期課程）		126人	258人	情報科学専攻（博士前期課程）		132人	264人
		（博士後期課程）		37人	115人	（博士後期課程）		39人	117人
		マテリアルサイエンス研究科				マテリアルサイエンス研究科			
		マテリアルサイエンス専攻（博士前期課程）		120人	245人	マテリアルサイエンス専攻（博士前期課程）		125人	250人
		（博士後期課程）		35人	109人	（博士後期課程）		37人	111人
		平成24年度							
		知識科学研究科							
		知識科学専攻（博士前期課程）		86人	172人				
		（博士後期課程）		28人	86人				
		情報科学研究科							
		情報科学専攻（博士前期課程）		126人	252人				
		（博士後期課程）		37人	113人				
		マテリアルサイエンス研究科							
		マテリアルサイエンス専攻（博士前期課程）		120人	240人				
		（博士後期課程）		35人	107人				
平成25年度以降									
知識科学研究科									
知識科学専攻（博士前期課程）		86人	172人						
知識科学専攻（博士後期課程）		28人	84人						
情報科学研究科									
情報科学専攻（博士前期課程）		126人	252人						
情報科学専攻（博士後期課程）		37人	111人						
マテリアルサイエンス研究科									
マテリアルサイエンス専攻（博士前期課程）		120人	240人						
マテリアルサイエンス専攻（博士後期課程）		35人	105人						